

公益社団法人日本植物学会 平成24年度事業報告 (平成24年7月2日～平成24年12月31日)

I. 事業の状況

事業報告の概要

本学会は、植物科学に関する研究の進展と知識の普及に関する事業を行い、学術の発展に寄与することを目的としており、平成24年6月22日に公益社団法人への移行が認定され、同年7月2日に移行した。平成24年度は、下記の2公益事業を中心に展開し、高い公益性を実現するための施策と事業を展開した。

(公益事業1) 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公開

学術雑誌の刊行については、Journal of Plant Research (JPR) 125巻4号～6号(3冊)の発行と電子出版を行った。植物科学関連の学術集会、研究動向、出版物、研究助成公募、求人公募等の植物科学教育研究情報を収集し、学会情報誌や日本植物学会ホームページを通じて提供した。さらに一般向け情報をホームページ上で公開した。JPRを国内外の研究機関等へ寄贈と交換を行った。植物学会の所蔵図書を会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

(公益事業2) 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進

定例学術集会として、第76回日本植物学会大会を兵庫県立大学にて開催した。また社会への啓発活動等として、大会において一般向け公開講演会および高校生ポスター発表会を開催した。学術業績の表彰その他研究の奨励として、日本植物学会賞の授与を行った。さらに、大会時に高校生ポスター賞を授与した。また各種団体による賞・研究助成金公募への推薦を行った。国内外の関係学術団体、学術連合との連絡及び交流などを協力事業として行った。講演会、講習会等の主催、共催および後援を行った。その他、地方の関連学会を通じた地方の研究動向調査、植物科学教育研究情報の収集と公開を行った。東日本大震災の復興支援事業として、被災地の学会員の研究を支援し、合わせて植物を利用した復興支援研究・活動を支援した。

処務として、新公益法人化に伴う諸規則の整備、代議員会、理事会等を開催した。

1. 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公開 (公益事業1)

ア. 学術雑誌及びその他の出版物の刊行 (電子情報も含む)

JPR編集委員会

JPR編集委員会は、英文論文誌JPRの編集業務を担当する。最新かつ永続的な価値を有する植物科学情報を世界へ発信することにより、会員サービス並びに分野の発展に貢献する。

(委員会開催：JPR編集委員会1回、JPR拡大編集委員会1回)

(1) JPR Vol. 125の編集・発行

JPR: Vol. 125 (No. 4～No. 6)、A4変形版、論文頁数331頁、紙版発行部数 6,800部、7月、9月、11月発行、オンライン版：随時アップロードの維持・整備を行った。

(2) 編集体制の強化

JPR編集協力委員 (Editorial Board Member) の協力により編集体制を強化した。

(3) 著者・購読者に対するサービスの向上

学会ホームページ上での和文要旨の公開、投稿ガイダンス・規程類の整備と公開を行った。

(4) 編集委員会、拡大編集委員会 (大会会期中) の開催

大会会期中 (平成24年9月14日) に、編集委員会、拡大編集委員会をそれぞれ1回開催した。

広報委員会

広報委員会は、日本植物学会の目的および事業を、会員および社会に広くアピールするための広報活動を行い、学会のプレゼンスをより一層向上させるということを使命としている。

(委員会開催：1回)

(1) 会員向けサービスとして、植物科学関連の学術集会、研究動向、出版物、研究助成公募、就職公募等の植物科学教育研究情報を収集し、ホームページ委員会に情報を提供した。また収集した情報を学会情報誌生物科学ニュースとして編集した。

(2) 一般向けとして、植物科学に関する研究成果を「植物科学の最前線」「研究トピック」などのコンテンツとしてまとめ、学会が取り組む各事業内容をアピールした。

ホームページ委員会

ホームページ委員会は、広報委員会がまとめた情報を学会ホームページでわかりやすく掲載する。

(委員会開催：1回)

会員・一般向けサービスとして、学会ホームページの維持・管理、生物科学ニュースの維持を行った。

イ. Journal of Plant Research の国内外の研究機関への寄贈と交換

英文論文誌JPRを国内外の研究機関等へ寄贈と交換を行った。交換で得られた雑誌を本学会員や外部閲覧者に無料で公開した。

ウ. 植物学関連図書の閲覧公開

植物学会の所蔵図書を会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

2. 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進 (公益事業2)

ア. 学術集会、講演会、講習会などの開催

大会準備委員会

大会準備委員会は、植物科学に関する最新の研究と関連技術の研究成果を発表し、討議する場を提供する。会員サービスとして、より良い発表・参加の環境を提供して、我国の学術、教育に寄与することを基本方針とする。

(1) 年次学術集会の開催

① 日本植物学会第76回大会を平成24年9月15日から9月17日まで3日間、兵庫県立大学書写キャンパスで開催した。

② 発表演題数は474件で、参加者数は847名であった。

③ 平成24年9月15日に男女共同参画ランチョンセミナーを開催した。

④ 平成24年9月16日に高校生ポスター発表会を開催した。

⑤ 平成24年9月17日に一般向け公開シンポジウム「兵庫の植物、その多様性と成り立ち」を開催した。

(2) 会員サービス

託児室およびクローク運営を実施した。

(3) 事業運営

大会の実施にあたって、運営に関しては庶務担当理事と、経理に関して会計担当理事と連絡を密にし、大会の運営にあたった。

(4) 学会賞受賞者の表彰と講演

平成24年9月16日に日本植物学会賞受賞者（大賞1件、学術賞1件、奨励賞3件、若手奨励賞5件、特別賞2件、JPR論文賞3件）の授賞式と講演会（10件）を行った。また、同日に高校生ポスター発表会の優秀ポスターについて、表彰を行った（4校が受賞、19校に奨励賞授与）。

広報委員会

広報委員会は、日本植物学会第76回大会における理事会企画シンポジウム「植物バイオマスのミクロからマクロの動態：生態系・生物多様性と気候変動」の企画と実施を行った。

ホームページ委員会

ホームページ委員会は、大会広報・ホームページ責任者と協力して、ホームページの運用にあたった。大会参加申し込み、要旨の収集など、大会時に必要な定型業務の支援を行った。

男女共同参画委員会

（委員会開催：1回）

男女共同参画委員会は、男女共同参画ランチョンセミナーを大会準備委員会と協議して大会期間中（平成24年9月15日）に開催した。

運営委員会

（委員会開催：1回）

庶務担当理事は大会の運営に関して、会計担当理事は大会の経理に関して、大会準備委員会の担当者と協議し運営を補佐した。また庶務担当理事は、年次学術集會中の以下の委員会の開催に必要な会場について、大会準備委員会の担当者と協議した（代議員会、JPR編集委員会、JPR拡大編集委員会、学会賞選考会議、広報委員会、ホームページ委員会、大会引き継ぎの会合）。

学会全体

共催1件

- ・「平成24年度チャレンジ・キャンペーン～女子高校生・学生の理工分野への選択～」（主催：内閣府男女共同参画局推進課）期間：2012年6月—2013年3月

後援3件

- ・第62回東レ科学講演会「自然の囁きを聴く」（主催：公益財団法人東レ科学振興財団館）期間：2012年9月21日、場所：有楽町朝日ホール
- ・「Environmental Adaptation and Speciation of Plants and Fungi, 植物と菌類の環境への適応と進化」（主催：国立科学博物館）期間：2012年10月6—8日 場所：国立科学博物館上野本館
- ・「青少年のための科学の祭典2012」（主催：「青少年のための科学の祭典」各大会実行委員会、（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館）期間：2012年5月20日—2013年3月31日、場所：北海道から沖縄の109会場

協賛3件

- ・The 9th Asia-Pacific Marine Biotechnology Conference (APMBC2012)（主催：マリンバイオテクノロジー学会）期間：2012年7月13—16日、場所：高知市文化プラザ

- ・「平成24年度 女子中高生夏の学校2012～科学・技術者のたまごたちへ～」(主催：(独)国立女性教育会館 日本学術会議「科学と社会委員会 科学力増進分科会」「科学者委員会 男女共同参画分科会」) 期間：2012年8月9—11日，場所(独)日本女性教育会館
- ・「稲盛財団 京都賞ワークショップ」(主催：公益財団法人 稲盛財団) 期間：2012年11月12日，場所：国立京都国際会館

協力1件

- ・第13回国際花粉学・第9回国際古植物学合同会議 期間：2012年8月23—30日，場所：中央大学後楽園キャンパス

イ. 研究業績の表彰その他研究の奨励

学会賞選考委員会

(委員会開催：1回)

学会賞選考委員会は、平成25年度の学会賞選考にあたり、候補者の募集を行った。

- (1) 日本植物学会賞の選考(日本植物学会賞大賞、日本植物学会賞学術賞、日本植物学会賞奨励賞、日本植物学会賞若手奨励賞、日本植物学会賞特別賞(技術・教育・その他))

ウ. 国内外の関係学術団体との連絡及び協力

学協会委員

光生物学協会、理数系学教育問題連絡会、自然史学会連合、男女共同参画学協会連絡会に委員を派遣し、協力した。

学会全体

- (1) 日本学術会議第三部基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会合同植物科学分科会と連携し、日本学術会議主催公開シンポジウムの共催、日本の政策決定に向けて実施する提言の作成、および提言を実現するための具体的な施策に関する事項を担当した。
- (2) 生物科学学会連合を通じて、参加学会との連携・協力を強化した。
- (3) 地方の関連する植物学会(北海道植物学会、東北植物学会、北陸植物学会、近畿植物学会、中国四国植物学会、九州沖縄植物学会)との連携・協力を行った。

エ. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

学会全体

地方の関連学会を通じた地方の研究動向調査、広報委員会・ホームページ委員会を通じて、植物科学教育研究情報の収集とホームページを用いた公開を行った。また東日本大震災の復興支援として、被災地の学会員の研究を支援し、植物を利用した復興支援研究・活動を支援した。

3. 管理業務

運営委員会

運営委員会は、日本植物学会全体に関わる事項について総合的に検討し、対応の原案を作成し、理事会に提案する。また、理事会から委託された事項の執行を行う。さらに、学会内の複数の委員会が関与する事項について、連絡・調整などを行う。学会の活動全般に関し、総合的に検討を進め、学会の活動の質的な改善のための所要の原案を作成し、理事会に提案し、その実現を図る。理事会から委託された事項に関し、執行する。

(委員会開催1回)

- (1) 平成24年度及び平成25年度の事業計画案と予算案を検討し、作成した。

- (2) 学会全体と学会内の委員会が関与する諸事項を検討し、事前に対応策を立案し、理事会へ提案した。
- (3) 英文論文誌JPRの活性化を継続的に行った。
- (4) 学会の財政基盤を安定化するために、会員数の維持・増加を図るとともに、総合的な検討を行った。
- (5) 日本植物学会表彰制度の実施と広報の活発化を図った。
- (6) 学会運営の合理化に関して、予算措置を含め検討し効率的な学会の構築策を立案した。

庶務関係

庶務担当理事は、公益法人に移行した状況に鑑みて会員関連、諸規定、その他庶務事項全般について対応する。事務局および各委員会との情報共有に務める。

- (1) 代議員会開催に関する準備と運営を行った。
- (2) 会員サービスの向上を目的とした会員名簿の作成及び地区植物学会との連携の推進を行った。
- (3) 関連委員会と連携した。
- (4) 公益法人体制における各種規程・契約の審議基準の見直し等、本部業務全般に渡る業務効率化を推進した。

会計関係

会計担当理事は、以下の事柄を行った。

(1) 平成24年度（1月1日～7月1日）の決算処理を遂行し、平成24年度（7月2日～12月31日）の経理管理及び予算原案、平成25年度予算原案を策定した。

- ① 単年度経常収支均衡を原則とする弾力性のある経理管理
 - ② 会計報告(月次)および決算報告(年次)
 - ③ 単年度経常収支均衡の原則下での活力のある学会を目指した予算策定
 - ④ 収入増、支出減のための所要の施策提言
- (2) 各委員会等の新規事業立案に対して経理面での建議、支援を行った。
- (3) 各種引当預金の使用計画を具体的に策定した。
- ① 中長期的視点に立った使用計画の立案促進
- (4) 中長期的学会運営に関し経理面の課題を検討し対策を提案した。
- ① 公益法人認定に伴う寄付制度の検討
- (5) 公益法人資格の維持の業務を行った。
- ① 公益法人認定基準に照らした学会運営状況の確認
 - ② 内閣府公益認定等委員会へ報告
- (6) 文部科学省へ社団法人日本植物学会決算報告及び事業報告を提出した。

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

1) 2012 年度 会長、理事、監事

役職	氏名	所属
会長	福田 裕穂	東京大 院 理学系研究科
専務理事	久堀 徹	東京工業大 資源化学研究所
編集担当理事	塚谷 裕一	東京大 院 理学系研究科
理事	川合 真紀	埼玉大 理工学研究科
理事	河野 重行	東京大 院 新領域創成科
理事	西谷 和彦	東北大 院 生命科学研究科
理事	長谷部 光泰	基礎生物学研究所
理事	三村 徹郎	神戸大 院 理学研究科
理事	矢原 徹一	九州大 院 理学研究院
庶務担当理事	野口 航	東京大 院 理学系研究科
会計担当理事	鈴木 石根	筑波大 生命環境科学研究科
監事	大森 正之	中央大 理工学部 生命科学科
監事	庄野 邦彦	東京大学名誉教授

2) 2012 年度 代議員 49名

北海道地区	大原 雅 (北海道大) 田中 歩 (北海道大) 藤田 知道 (北海道大)
東北地区	高橋 秀幸 (東北大) 西谷 和彦 (東北大) 彦坂 幸毅 (東北大)
北陸地区	小藤 累美子 (金沢大) 竹能 清俊 (新潟大) 山田 恭司 (富山大)
東関東地区	鎌田 博 (筑波大) 河野 重行 (東京大) 朽津 和幸 (東京理科大) 佐藤 忍 (筑波大) 鈴木 石根 (筑波大) 西田 治文 (中央大)
西関東地区	太田 啓之 (東京工業大) 川合 真紀 (埼玉大) 西田 生郎 (埼玉大) 久堀 徹 (東京工業大) 宮城島 進也 (国立遺伝研)
東京地区	池内 昌彦 (東京大) 今市 涼子 (日本女子大) 杉山 宗隆 (東京大) 園池 公毅 (早稲田大) 塚谷 裕一 (東京大) 寺島 一郎 (東京大) 福田 裕穂 (東京大) 邑田 仁 (東京大)
中部地区	芦荊 基行 (名古屋大) 木下 俊則 (名古屋大) 長谷部 光泰 (基礎生物学研究所) 東山 哲也 (名古屋大) 町田 千代子 (中部大)
近畿地区	荒木 崇 (京都大) 新免 輝男 (兵庫県立大) 高木 慎吾 (大阪大) 田坂 昌生 (奈良先端大) 田村 実 (京都大) 長谷 あきら (京都大) 西村 いくこ (京都大) 三村 徹郎 (神戸大)
中国地区	櫻井 直樹 (広島大) 出口 博則 (広島大) 宮川 勇 (山口大)
四国地区	奥田 一雄 (高知大)
九州地区	阿部 美紀子 (鹿児島大) 島崎 研一郎 (九州大) 高野 博嘉 (熊本大)
沖縄地区	山崎 秀雄 (琉球大)

2. 役員会等に関する事項

1) 代議員会

第1回 臨時代議員会

平成24年9月14日（金）17:00-20:25、兵庫県立大学書写キャンパス 書写記念会館において開催、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項
平成24年9月14日	第一号議案 社団法人日本植物学会平成24年度事業報告（案）
	第二号議案 公益社団法人日本植物学会平成24年度事業計画（案）
	第三号議案 公益社団法人日本植物学会平成25年度事業計画（案）
	第四号議案 社団法人日本植物学会平成24年度決算報告（案）
	第五号議案 公益社団法人日本植物学会平成24年度予算（案）
	第六号議案 公益社団法人日本植物学会平成25年度予算（案）
	第七号議案 平成25年度大会会長について
	第八号議案 公益社団法人日本植物学会細則の改訂
	第九号議案 役員・委員報酬規定の変更
	第十号議案 JPR 編集委員報酬規定の変更
	第十一号議案 JPR 論文賞選考和文規約の制定
	第十二号議案 日本植物学会賞内規の変更
	第十三号議案 日本植物学会賞受賞者選考規程の変更
	第十四号議案 倫理委員会内規の変更
	第十五号議案 次期選挙管理委員の選任

2) 理事会

第1回 理事会

平成24年8月1日（水）13:00-16:50、東京大学理学部2号館 第2講義室（223号室）において開催、審議事項は以下の通りである。

開催年月日	議決事項	
平成24年8月1日	(1) 社団法人日本植物学会平成24年度事業報告（案）	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会平成24年度事業計画（案）	承認
	(3) 公益社団法人日本植物学会平成25年度事業計画（案）	承認
	(4) 社団法人日本植物学会平成24年度決算報告（案）	承認
	(5) 公益社団法人日本植物学会平成24年度予算（案）	承認
	(6) 公益社団法人日本植物学会平成25年度予算（案）	承認
	(7) 平成25年度大会会長について	承認
	(8) 公益社団法人日本植物学会細則の改訂	承認
	(9) 代議員選挙施行細則の制定	承認
	(10) 会長候補者選挙施行細則の制定	承認
	(11) 地区代表代議員選出規程の変更	承認
	(12) 役員選出方法の概要の制定	承認
	(13) 役員・委員報酬規定の変更	承認
	(14) JPR 編集委員報酬規定の変更	承認
	(15) 植物学振興預金運営内規の変更	承認
	(16) JPR 編集委員会内規の変更	承認
	(17) JPR 論文賞選考和文規約の制定	承認

	(18) 大会に関する覚書の改訂について	承認
	(19) 丸善出版による「植物学百科事典」の企画について	承認
	(20) 庶務補佐委員、会計補佐委員の選任	承認
	(21) 図書担当委員の選任	承認
	(22) その他の委員の公益社団法人における継続について	承認
	(23) 生物科学学会連合会費の値上げについて	承認
	(24) 生物科学学会連合次期代表候補者の推薦について	承認
	(25) 学会名簿について	承認
	(26) その他 日本植物学会のロゴについて	決定

第2回 理事会

平成24年8月29日（水）、定款29条2項に基づく理事会決議において開催、審議事項は以下の通りである。

議決年月日	議決事項	
平成24年8月29日	(1) 公益社団法人日本植物学会細則の改正	承認

第3回 理事会

平成24年9月7日（金）、定款29条2項に基づく理事会決議において開催、審議事項は以下の通りである。

議決年月日	議決事項	
平成24年9月13日	(1) 公益社団法人日本植物学会ロゴマークに関する内規の制定	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会ロゴマークの使用に関する覚書の制定	承認

3. その他

新公益法人化に伴う諸規則の整備を行った。

Ⅲ. 会員の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
名誉会員	9	9	9	9	9	9	8	8
正会員	2128	2071	1994	1991	1919	1937	1915	1855
内 終身会員	21	19	18	18	13	13	12	11
内 50年会員	107	117	119	117	123	121	119	125
内 学生会員	408	385	358	415	390	418	396	347
団体会員	25	27	25	18	15	15	14	14
賛助会員	2	2	2	2	2	2	2	2
海外個人会員 (日本人も含む)	113	100	99	114	111	110	126	122
合計	2277	2209	2129	2134	2056	2073	2065	2001

Ⅳ. 英文論文誌の出版状況の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
投稿件数	174	367	420	430	483	512	459	499
(国内)	81	108	105	83	116	117	97	84
(海外)	103	259	315	347	367	395	362	415
出版論文数	55	79	79	69	64	84	73	77
(国内)	35	48	47	44	43	52	47	48
(海外)	20	31	32	25	21	32	26	29
IF	1.202	1.225	1.415	1.59	1.524	1.512	1.746	未定

Ⅴ. 学術集会（大会）の参加者数・演題数の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
開催地	富山	熊本	野田	高知	山形	春日井	東京	姫路
参加者数	760	735	1020	734	672	931	1129	847
演題数	487	487	456	488	434	523	571	474

事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。